

令和 7 年 3 月 定例会

予算委員会
全体会議録
(新年度・その 2)

3 月 17 日 (月)

- 日時 令和7年3月17日（月）
○場所 議会棟2階 議場
○付議事件 議案第18号 令和7年度防府市一般会計予算
-

○出席委員（23名）

委員長	宇多村史朗
副委員長	村木 正弘
委員	石田 卓成
委員	上田 和夫
委員	上野 忠彦
委員	梅本 洋平
委員	河杉 憲二
委員	河村 孝
委員	久保 潤爾
委員	重田 直輝
委員	生野 美輪
委員	曾我 好則
委員	田中 健次
委員	田中 敏靖
委員	中谷 哲
委員	原田 典子
委員	藤村 こずえ
委員	藤本 真未
委員	松村 学
委員	三原 昭治
委員	宮元 照美
委員	森重 豊
委員	山田 耕治
委員	和田 敏明

○欠席委員

なし

○討論に出席した者（15名）

教育長	江山 稔
総務部長	白井 智浩
総合政策部長	永松 勉
文化スポーツ観光交流部長	瀬川 博巳
生活環境部長	金澤 哲
福祉部長	藤井 一郎
保健こども部長	石丸 典子
産業振興部長	杉江 純一
産業振興部理事	亀井 幸一
土木都市建設部長	石光 徹
会計管理者	國澤 明
教育部長	高橋 光男
議会事務局長	寺畠 俊孝
消防長	米本 静雄
上下水道事業管理者	河内 政昭

○出席書記 中司 達朗

午前10時 開議

○宇多村委員長 おはようございます。

ただいまから予算委員会を開催いたします。

議案第18号 令和7年度防府市一般会計予算

○宇多村委員長 それでは、これより議案第18号令和7年度防府市一般会計予算について審査を行います。

委員の皆様におかれましては、分科会での御審査、大変お疲れさまでございました。

各分科会主査から、分科会において審査した結果、全体会で審査すべき事項はない旨の報告を受けております。

したがいまして、主査報告に対する質疑は省略し、議員間討議を行います。どなたかござりますでしょうか。

[「進行」と呼ぶ者あり]

○宇多村委員長 ないようですので、議員間討議を終結し、討論を求めます。

○原田委員 議案第18号令和7年度防府市一般会計予算について、「日本共産党」は反対の立場を表明いたします。当初予算規模は592億7,000万円となっており、対前年度比マイナス0.5%減となりましたが、過去2番目の予算規模となっております。現在、市民生活は光熱費や食料品など、あらゆる物価の度重なる高騰に苦しんでおり、消費税負担も重くのしかかっております。加えて農家をはじめ、小規模事業所の苦境は深刻です。このたびの当初予算について、幾つかの物価高騰対策を施されていることについては評価をいたしますが、これまで続けてきた物価高騰のスピードに対策が追いついていかないのが現状です。国がやると言ったから市もやりますという支援策だけでなく、積極的な市独自の支援策、とりわけ市が徴収する幾つかの市民負担を引き下げることで市民の懐を温める政策、例えば現在県内9つの市町で既に実施されている、学校給食費の無償化も必要であると考えております。地方自治の本旨は、住民福祉の向上という観点から市民の命と暮らしを守るためにには必要であるということを申し上げておきます。

さらに加えて、市民ニーズの多様化や市の業務量の増加、災害時の対応などを考えますと、これまでの行政改革による職員数の減少、とりわけ専門職や技術職の不足は深刻です。職員の配置と業務量のバランスが取れているのか、残業が慢性的になっていないか、またはそういったところから、職員の心と体の健康を壊すようなことが起きていないかと危惧をしており、もっと正職員の増員を図らなければならないと考えております。

教育においては、教員の時間外勤務と持ち帰り勤務の合計が過労死ラインを大幅に上回っている現状もあり、子どもたちの学ぶ権利と教員の命と健康を守る政治が求められております。

また、新入学児童用かばんの支給事業においては、何人かの議員が一般質問をされており、実際に使用している子どもの保護者の声については、市の責任においてアンケートなどで声を聞くことが必要ではないか。ただ一方的に進めていく姿勢はいかがなものかと疑問に思っております。一度立ち止まり、よりよいものとするための対応をすべきだと思います。

新年度予算では、市民要望を積極的に取り入れた事業も予算化されておりまして、この点では大変評価をいたしますけれども、以上述べた点で、一般会計予算には賛成しがたいとして、討論させていただきます。

以上です。

○石田委員 会派、「国民民主党」として賛成の立場で討論させていただきます。

このたびの予算ですが、農業について、すごい果敢な挑戦をしていただきまして、僕も実際現場でやっている身として、本当にできるのかと思う、不安なちょっと心配な部分もあるぐらい果敢な挑戦で、何かあつたら市内の担い手も喜んでくれていると思いますので、いろいろ協力もしてくれると思いますので、ぜひ頑張っていただけたらなと思います。ありがとうございます。

ちょっと1点、懸念がありますのが、この前も申しました太陽光パネルの設置についてでございます。公共施設などに半分の施設に設置するという国の目標に沿って行われておるわけでございますが、先日も申しました、この発注を国産であつたり国内メーカーに限定できないのかという問い合わせに対して、今朝の時点でまだ、できるもできないも、よう答えると言われているんです。WTOのルールによってできないとか、この条項によってできないとかいうのがあれば、こっちも納得できるんですが、そういうことも、できるかどうかかも分からぬというような回答しかいただけております。なので、どうしたもんかと思いますが、言っている趣旨としては今、有事を想定した人々の避難計画、台湾有事を想定した避難計画とかも防災の面でもやっておりますし、農水の面では食料供給困難事態対策法というのを去年国会で成立させて、そういうふうなことが万が一起こっても大丈夫なよう、またサプライチェーンの再構築も含めて国のはうでもしっかりと進めているところであるんですが、この分野に限っては、そういったのが見えてこないという中で、やっぱり考えていくべきじゃないかなと。やっぱり、なるべく国内メーカーのものを、せめてロゴだけでも付けたものを設置していただきたいと。以前もこれ、ずっと前から言っていて、市長も目の前でうんうんと大きく言ったときもうなずいてくださっていましたが、そこが見えてこない中で、最終日に附帯決議でも付けないとけんかんと思いながら、賛同してくれる方がどれくらいあるか分かりませんが、保守派の政党は賛成してくださると思うので、そこも含めてまたちょっといろいろと話し合っていかなければと思います。とともに含めまして、ちょっと言いたいことを言わせてもらいましたが、賛成の討論とさせていただきます。

以上です。

○河村委員 議案第18号令和7年度防府市一般会計予算に対し、「公明党」として賛成の立場で討論をします。

まず、本予算案では3月補正予算と一体となった第5次防府市総合計画の総仕上げ予算として、庁舎建設費を除くと過去最大の予算となっておりますが、厳しい財政状況の中、予算編成時には約27億円の財源不足を国の補正予算を含め、国、県事業の積極的な活用により、最終的な財源不足を17億9,000万円まで圧縮されたことにつきまして、高

く評価しております。

特に、「公明党」が要望してまいりました物価高騰対策、人手不足対策など、市民生活や中小企業への経済対策等をしっかりと講じた施策になっている点を高く評価いたします。

具体的には、物価高騰対策として農業公社を活用した、小・中学校給食への食米提供や防府市奨学金貸付事業があります。また、人手不足対策については緊急就労応援事業として、深刻な運送業、介護士、保健師、看護師の人材確保の支援や運転手不足対策事業が計上されております。

また、「公明党」が推進してまいりました産後ケア事業、1歳児健診の無償化など子育て政策の充実、地域クラブ推進事業による地域クラブ移行の手厚い支援策等の教育面の施策の充実についても、計上されております。加えて、安全安心のまちづくりのために広域防災広場整備事業、国道2号台道・鋸銭司間拡幅促進事業、市営住宅活用事業なども、以前から「公明党」が一般質問で推進しており、大いに期待しております。

最後に、来年度は2030年へ向けて、次期総合計画につながる重要な一年となりますことから、全ての事業はSDGsの基本理念である誰一人取り残さないの精神で、各事業一つ一つに丁寧に取り組んでいただきたいことを要望いたしまして、賛成討論といたします。

以上でございます。

○上田委員 令和7年度防府市一般会計予算に対し、会派「自由民主党」として賛成の立場で討論をさせていただきます。

本予算は、厳しい財政状況にあっても、「輝き！ほうふプラン」に掲げる諸政策を確実に達成することを目指し、まちづくり防災対策、子育て支援について新規事業が多く盛り込まれております。

また、デジタル化やカーボンニュートラルの着実な推進、地方創生へのチャレンジ、物価高騰、人手不足対策を講じたことから、庁舎建設関係経費を除くと過去最大となり、その結果27億円の財源不足は生じましたが、あらゆる財源確保を図り、交付税措置率の高い地方債を優先的に発行するなどして17億9,000万円まで圧縮をされました。

さらに、文化、スポーツ、観光振興や中心市街地の活性化、インバウンドへの対応、子育て支援や健康福祉の充実が図られていることを高く評価し、賛成の討論といたします。

○藤本委員 「未来防府」としましては、予算全体に対しては賛成いたします。ですが一部事業、新入学児童用かばん支援事業に関しましては、私の支援者からの声がありますので賛成しかねる点がございます。しかし、事業内容全てに対して反対というわけではありません。事業の概要の中に経済的負担の軽減とありますように、継続するのであれば全員

統一のかばんの制服化を求めます。またデザインやカラーバリエーションも再検討を要望いたします。今後3年間、引き続き使用率を見ていきたいと思っております。よろしくお願いします。

○宇多村委員長 ほかにございませんか。

[「進行」と呼ぶ者あり]

○宇多村委員長 討論終結して、お諮りいたします。

本案については反対の意見もありますので、挙手による採決といたします。

議案第18号について、これを承認することに賛成の委員の挙手を求めます。

[賛成者 挙手]

○宇多村委員長 挙手多数でございます。

よって、議案第18号については原案のとおり承認されました。

○宇多村委員長 以上をもちまして、当委員会に付託されました案件についての審査を終了いたします。

これをもって、予算委員会を散会いたします。大変お疲れさまでございました。

午前10時12分 散会

防府市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

令和7年3月17日

防府市議会予算委員会委員長 宇多村 史朗